

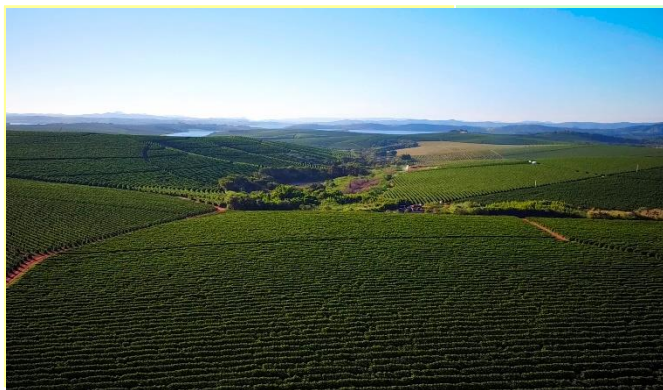
RAISING THE
POWER
OF MC

営業グループ事業説明会

三菱商事株式会社

生活産業グループ

生活原料本部



目次

1. 生活原料本部概要

(1) ミッション

(2) 基本情報

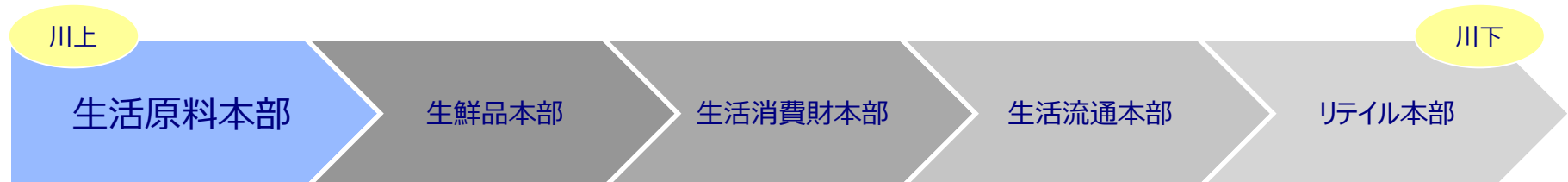
2. 環境認識

3. 各事業領域の状況 (食品原料/穀物飼料/住宅資材)

1. 生活原料本部 概要

(1) ミッション

生活産業グループの事業領域に於いて最川上に位置し、食・住に関わる競争力のある原料をサステナビリティに配慮しながらグローバルに調達・供給することで、消費者の安全・安心な食生活と豊かなくらしの創造に貢献する。



1. 生活原料本部 概要

(2) 基本情報

生活原料本部 本部長：中山 裕章

食品原料領域

コーヒー、ココア、胡麻、ナッツ類等

<主要事業会社>

Olam International Ltd
(株)MCアグリアライアンス
かどや製油(株)

穀物飼料領域

とうもろこし、大豆、麦、コウリヤン、
菜種、配合飼料原料、油脂等

Agrex Inc
Riverina (Australia) Pty Ltd
日本農産工業(株)

住宅資材領域

硅砂、セメント、コンクリート類、
木材、住宅用建材等

Cape Flattery Silica Mines
Mitsubishi Cement Corp.
三菱商事建材(株)

2. 環境認識

需要サイド

- ・世界の人口増
⇒ 食料需要増
- ・生活者の収入増・都市化
⇒ 一人当たり食料消費額増
- ・途上国の食生活の変化
⇒ タンパク質・脂質の需要増
⇒ 将来的な原料供給の逼迫懸念
- ・健康志向の高まり
- ・生活者の安全・安心や
サステナビリティに対する意識の高まり

供給サイド

- ・耕地面積の限定的な拡大余地
- ・気候変動による農業リスクの増大
- ・水資源の希少性の高まり
- ・途上国におけるポストハーベスト
段階でのフードロス
(インフラ・知識の不足)
- ・サブサハラアフリカ等での貧困

⇒ 農業・農産物の取引を通じて、世界の諸問題の解決に貢献していく方針

3. 各事業領域の状況（食品原料）

Olam International Ltd社概要

世界70か国で約44商品の事業を展開。農産物の生産から集荷・一次加工、トレーディング、自社ブランドの最終製品の製造・販売まで幅広く事業を展開

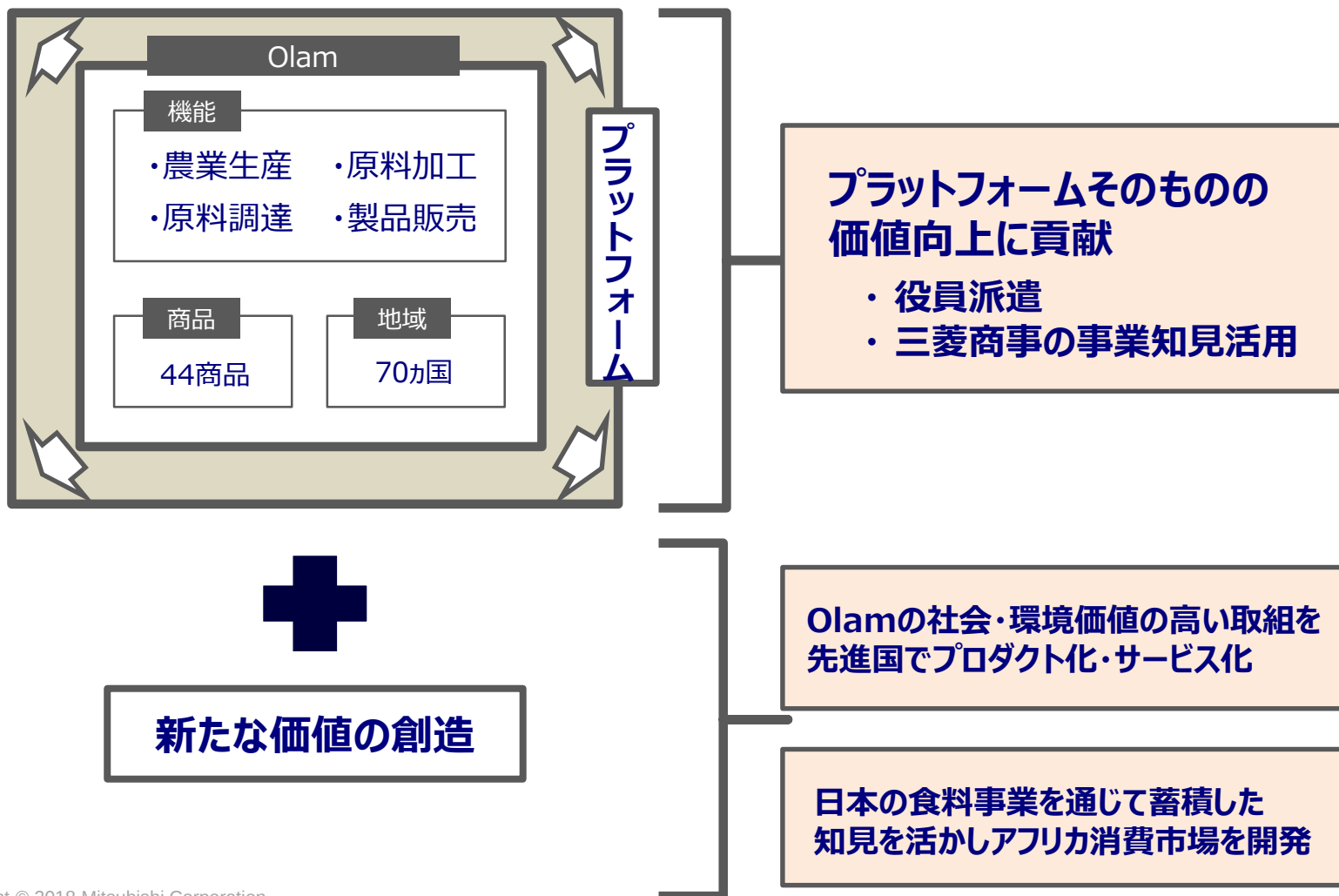
当社セグメント	主要商品	各商品のサプライチェーン別展開領域			
		生産	集荷・一次加工	トレーディング	二次加工
1 ナッツ 乾燥野菜	アーモンド	世界第一位			
	カシューナッツ		世界第一位		
	乾燥野菜・スパイス		乾燥ニンニク 世界第一位	乾燥タマネギ 世界第一位	
2 製菓・ 飲料原料	コーヒー		世界第二位		
	ココア		世界第一位		
3 食糧・ 加工食品	穀物・製粉				(パスタ)
	飼料・畜産・水産				(飼料)
	パーム				(食用油)
	酪農				
	米		世界第二位		
	加工食品				
4 その他 産業資材	綿花		世界第二位		
	ゴム				

時価総額 : 5,700億円(2018年5月末時点、シンガポール証券取引所上場)
 2017年度 当期純利益 : SGD552百万(約450億円、非支配持分控除後)
 従業員数 : 約 72,000人(臨時職員等含む)

3. 各事業領域の状況（食品原料）

戦略の概要

Olam社を起点として食品原料事業の収益拡大を目指す



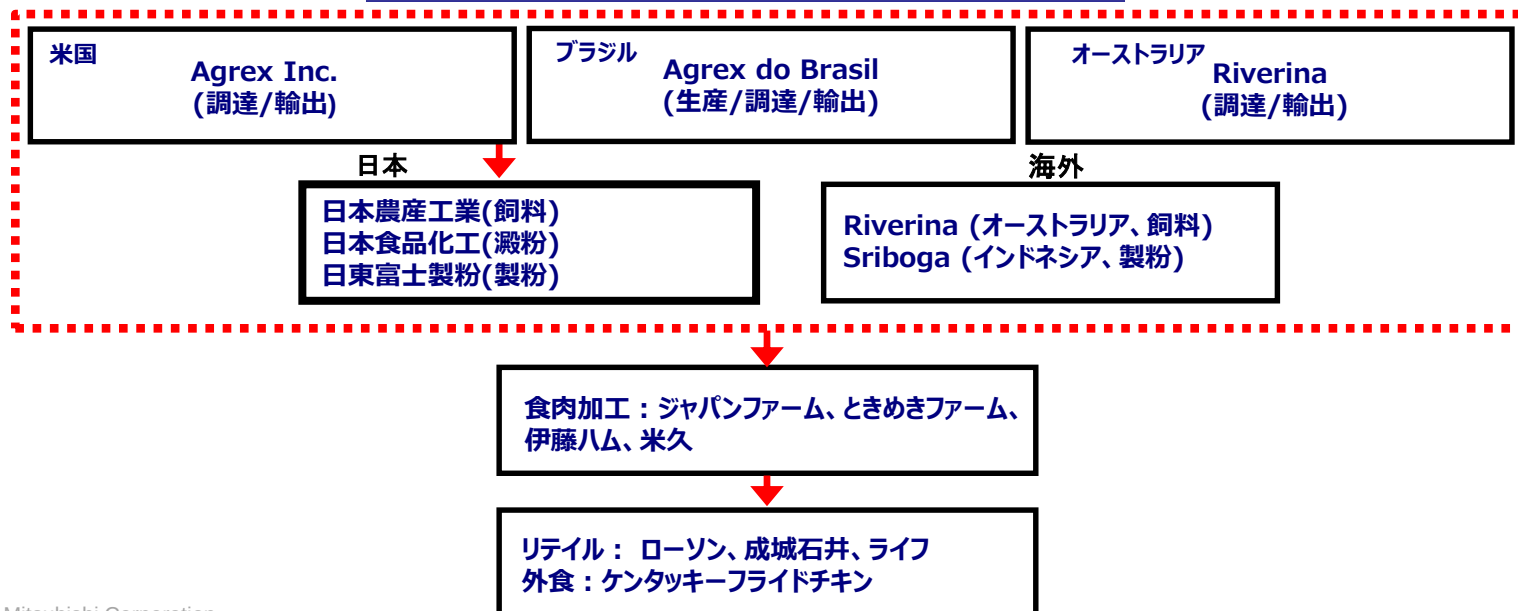
3. 各事業領域の状況（穀物飼料）

穀物・飼料・油脂製品の原料調達機能を担い、安心・安全で競争力のある原料の安定供給に取り組んでいる。

事業概要

穀物事業	穀物の集荷・販売・トレーディング事業。わが社が有する需要に見合う形で、穀物産地において競争力のある供給基盤を構築。
飼料事業	飼料原料の集荷・販売・トレーディング事業。日本農産工業を中心に、配合飼料事業を展開。
油脂事業	動植物油脂の販売・トレーディング事業。サステイナブルなパーム油※や付加価値の高いオリーブ油の供給、海外加工油脂事業を展開。 ※2021年までにRSPO（持続可能なパーム油に関する円卓会議）ないしはそれに準ずる認証パーム油100%取扱を目指す。

わが社が有する需要に対して、安定供給を行う体制を構築



3. 各事業領域の状況（住宅資材）

1. 北米セメント・生コン事業

（1）事業概要

- ✓ 三菱マテリア社と共に、南カリフォルニアを中心にセメント・生コン製造・販売事業を展開（わが社出資比率約30%）。
- ✓ セメント（川上）と生コン（川下）の垂直統合型事業モデルにより、長期的且つ安定的なセメント・生コン供給体制を構築。

（2）今後の見通しと事業展開

- ✓ 南カリフォルニア地区は中長期的な人口増に伴い、セメント・生コン需要の伸長が期待される。
（現在のマーケット需要は過去ピーク時の7合目）
- ✓ 優良な骨材鉱山の自社保有や効率的な物流網等の強みを背景に、需要を着実に取り込むことにより、収益は今後も拡大していく見通し。

2. 硅砂事業

（1）事業概要

- ✓ 三菱商事グループが有する広範な販売・物流ネットワークにより、豪州ケープフラットリー硅砂鉱山(三菱商事100%出資)で採掘する硅砂を年間200万トン超、東アジアを中心に販売している。

（2）今後の見通しと事業展開

- ✓ アジア/太平洋地区に於ける硅砂需要増加を捉え、新たなサプライソース取り込みも視野に、販売数量拡大を目指す。

（3）サステナビリティ

- ✓ ケープフラットリー鉱山においては、緑地再生や水資源の再利用を積極的に行っている他、現在風力発電の導入検討を進めている。

